平成30年度 島根県立隠岐島前高等学校 入学式　校長式辞

春光と桜が温かく降り注ぐなか、校舎へとなだらかに続く坂道の桜たちも、新入生の入学を待ちきれないかのように咲き誇り、島の美しい春景の一つとして彩りを添えています。このよき日、平成三十年度入学式を挙行するにあたり、「隠岐島前高等学校の魅力化と永遠の発展の会」代表山内道雄海士町長様、本校前校長でもある島根県教育庁教育指導課長常松徹様をはじめ、多数のご来賓の皆様の御臨席を賜り、厳粛で心温まる式を挙行できますことは、本校の教職員ならびに在校生にとって大きな喜びであります。高所からではありますが、ご臨席いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。併せて本校での学びに信頼と期待をもってお子様をお預けいただきますことに深く感謝いたします。島前地域内のみならず、県外、国外からも生徒が集う本校は、多様性に満ちています。高校生となるお子様にとって、狭隘な人間関係や固定化された価値観が大いに揺さぶられ、化学反応が生じやすい環境です。私達はここに有効な触媒を加え、豊かで実りのある反応を誘発させて、お子様の成長を促していきます。とはいえ、「生みの苦しみ」の言葉通り、成長過程では悩みや苦しみに直面することも多くあることでしょう。ご家庭におかれては、どんなに遠く離れていても、お子様を物心両面でしっかりと支えて、いつでも安心できる居心地のいい、いつでも頼って行ける場所であり続けていただきたいと考えます。そうした温かな家庭と時には厳しくもある学校とが緊密な連携を図り、お子様の育ちをサポートしていきたいと考えます。私達教職員は、お子様が自らの生きる道を切り開いていけるよう、全力で支援してまいります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育方針を十分にご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、只今入学を許可しました五十一名の新入生の皆さん、入学おめでとう。本校は創立六十三年目、離島では全国でも稀な全日制普通科校です。そして、その歴史と実績において、様々な点で「初・唯一」とつくことの多い学校でもあります。地域の熱意で開校し昭和三十三年に「全国初の全日制分校」となった歴史、離島としては「唯一のスーパーグローバルハイスクール事業指定校」であるなど、どこにでもある高校とは異なった特色を持つ、活力と熱気に満ちた学校です。ぜひ、志を持って本校の門をたたいてくれた新入生の皆さんと、在校生が力を合わせて、永遠に持続可能な魅力的な学校となるよう努めてほしいと願っています。

ではここで、皆さんに問いかけます。「高校進学の目的は何ですか」、「島前高校に、また高校生となる自分自身に何を期待しますか」。この二つです。それぞれで考えてください。ただし、模範解答はありません。答えは多様であっていい。各自で考え、探し、決めていけばいい。まさに自由ですが、なくてはならないものではあります。伝えたいのは、目的もなく、期待もしない、そんなスタートを切ってほしくないということです。「初心忘るべからず」との金言があるように、今考え得る高校入学の目的と自身の将来への期待を忘れることなく抱き続け、折につけ振り返ってもらいたいのです。それがきっと皆さんの歩みを支える基盤となるでしょう。実は、皆さんは大きな変わり目となる年度の入学生です。それは、三年後に受験となる大学入試についてです。選択マーク式のみだった大学入試センター試験に記述式問題が加わり、名称も変更となります。ただの知識暗記型学習では対応できず、これまでにもまして、思考力・判断力・表現力が求められるようになります。また、英語の評価に外部検定試験の活用が予定されるなど、学びの在り方が大きく変わる時に直面するのが皆さんの学年です。本校ではその対応に向けた授業改革を既に実践しているので不安に思う必要はありませんが、当事者である皆さんの主体性や努力がなければどうにもなりません。意識を高くもって、共に学んでいきましょう。

次に、入学生の皆さんに、高校生活を共に送るうえで大切にしてほしいことを、三点伝えておきたいと思います。

一つは、今年度のスローガン「前傾姿勢でＳＩＮＫＡ」についてです。一歩でも前へ、推進力を持った動きができるよう準備する姿勢、心構えを表すのが、陸上競技などで用いられる「前傾姿勢」です。どっかりと座って動かないで待つのはなく、前を見据えて踏み出す準備をする。短絡的な安住を求めず、様々なことに挑戦する自分をイメージし、日々進化してもらいたいと思います。学校全体もそうした進化を常にめざします。ここで用いた「ＳＩＮＫＡ」は、もちろん進む意味での「進化」です。それは当然大切ですが、他にも多様な価値観を持つ人たちとの交流を大切にする、誰とでも隔てなく親しくなる意味での「親化」、前傾姿勢をもって挑戦し、新しく変化することを恐れない意味での「新化」、学習などで浅い知識にとどめずにより深めていく意味での「深化」、地道な努力がいずれ神がかった力を発揮するようになる意味での「神化」、これらに、自分自身の真の価値を高める意味での「真価」を加え、スローガンに「ＳＩＮＫＡ」を設定しました。ぜひ「前傾姿勢でのＳＩＮＫＡ」をともにめざしましょう。

二つ目は、「多様な経験の積み重ねを支援するキャリア教育の推進」についてです。人を成長させ前進させるものは何か考えてみたことがありますか。もちろん授業などで身につける知識や技能は力になります。しかし、身につけた結果としてのそれ以上に大切なのは、その過程、その経験による気づきではないかと思います。新しい環境での暮らしや新たな人との出会い、知らなかった考え方に触れること、思いっきり体を動かしてみた後の心地よさなど、経験した者にしか得られない気づきは自身の心を広く豊かにし、人生における選択の幅を大いに広げてくれます。そうした心の成長により、これから先に訪れるであろう、多くの苦難や障害、高い壁に感じられる課題などに直面しても、柔軟に対応できる力が培われていくと信じます。「キャリア教育」とは、社会的自立、自分らしく生きていく力をつけるためにそれぞれの年代や個人によって異なるキャリア発達を支援していく教育活動です。本校では、学校内外のすべての活動を通して、皆さんにとっての多様な経験ができる教育環境を整え、様々な気づきを促す支援をしていきます。ぜひ尻込みせずに、新たな経験に挑んでください。

三つ目は、本校のめざす在り方三点についてです。本校の教育活動の多くは地域によって支えられています。地域全体が学びの場であり、地域の方々は頼もしい先生です。そこで学ぶ感謝の心を忘れず、「地域に愛される学校」でありたいと思っています。また、「アイに満ちた学校」でありたいと願っています。支え合いや学び合い、助け合いや励まし合いなど、仲間と協働することによって互いに高め合い、親愛に満ちた学校を共に創っていきましょう。さらに、教職員一同、生徒を「見続ける学校」をめざします。見る、見守る、見通すなど、生徒を観察し、向き合い、伴走していきます。安心して、自己表現や自己実現にチャレンジしてください。

新入生の皆さん、スローガンの「前傾姿勢でＳＩＮＫＡ」を念頭に置き、「多様な経験の積み重ね」を心がけ、「地域に愛される、アイに満ちた、見続ける学校」で伸びやかに学び、生活してください。私達は、皆さんの高校三年間の充実と成長を約束します。

最後になりますが、今皆さんが見ている島前高校は皆さんの島前高校ではなく、先輩たちが築いてきた島前高校です。皆さんの島前高校はまだどこにもありません。これから皆さんが、ここにいる仲間や同志とともに、自分たちで日々作っていくのです。皆さんの夢が志にまで高まり、活力と熱意をもって高校生活を送られんことを祈念し、また学校と地域が一体となってしっかりと皆さんを支えていくことをここに約束し、式辞といたします。

平成三十年四月九日　　島根県立隠岐島前高等学校　校長　多々納　雄二